

答辞

【白石】

春の到来。祝いの歌を捧げる鳥たちに迎えられ、小川をそよ風が優しく撫でていく。春を告げる雷鳴と黒い雲。やがて嵐は去り、鳥たちはまた唄い出す。

協奏曲集「四季」で、美しい春の訪れはこう表現されています。新たな出発や出会いに喜びが満ちゆくこの季節、私たちは、上柴中学校を卒業します。

三年間を振り返ると、晴れた日よりも、嵐の中過ごした日々の方が多かったかもしれません。今までに無い困難や自分の無力さに悩んだときもありました。それでも、仲間と励まし合い、寄り添い合って、厳しい冬を越えることができました。

初めて上柴中の門をくぐったあの日から、私たちはいろいろな景色を見てきました。同じ景色が見られるのも今日が最後です。一八三人全員で今日のこの日を迎えらるることに、胸がいっぱいです。

【細野】

ただひたすらに白球を追いかけた、部活動。思うようなプレーができず、悔しい思いもしました。厳しい練習に耐え、試合に勝ったときは、仲間たちと勝利の喜びをかみしめました。先輩、後輩関係なく、互いを敬い、一つの目標に向かって私たちは突き進んできました。

私たちが築いてきたものは、部活動だけではありません。

白銀の世界の壮大さ、美しさを五感で感じた、スキー教室。あのときは、このスキー教室が最初で最後の宿泊行事になるとは思っていませんでした。山頂から見た、あの日のあの景色を、忘れることはないでしょう。

「この時間が、いつまでも続けばいいのに」どこまでも続く長い土手で、友とのおしゃべりが止まなかった、二十kmハイク。あのとき何を話して、何に笑ったかはもう覚えていませんが、マスク越しでもみんなの笑顔は見えました。

【戸田】

今日のこの晴れ姿を、一番心待ちにしていたくれたのは、お父さん、お母さんでしょう。中学校に入学してから、もう三年。私たちはこの三年間、たくさんを経験しました。

部活動でうまくいかず落ち込んでいたとき、受験への不安や焦りでイライラしていたとき、いつもそばで私たちを見守ってくれた、家族がいました。私たちは、家族に支えられ、今日という日を迎えることができるのです。私たちが生まれてから十五年。お父さんとお母さんの温かい愛とぬくもりに包まれて、私たちはこんなに大きくなりました。これまでの人生、お父さんとお母さんの子どもで良かったと思える毎日でした。これから、たくさん困らせてしまうかもしれませんが、心配をかけてしまうかもしれません。感謝の気持ちは、言葉だけでは伝えきれません。これからたくさん恩返しをさせてください。

【町田】

「ONE TEAM」の言葉は、三年間いつでも私たちの気持ちを一つにし、時には暗くなった心を奮い立たせてくれました。思い返せば、私たちはこの中学校生活で、校長先生をはじめ多くの先生方にお世話になりました。コロナ禍で行事ができなかったとき、また悩みを抱えて落ち込んでいたときも、私たちの気持ちを一番に理解し、優しく手を差し伸べてくださった先生方、たくさん笑顔と元気をくださり、ありがとうございました。不安でいっぱいだった受験の際には、私の背中を、「大丈夫だから」と優しく押してくださいました。その一言

で、どれほど救われ、前向きになれたか、本当に感謝しています。これから私たちは、それぞれの夢に向かって歩んでいきますが、もし、辛く、くじけそうになったときには、この上柴中に戻ってきてもいいですか。先生方、その時には、また温かく迎え入れてください。

【金澤】

そしてこの上柴中での生活で、私をいつも支えてくれたのは友だちでした。右も左もわからなかった入学式。周りに知っている人は一人もいませんでした。それでも、入学前からの知り合いのように接してくれた友だち。競い、気づけばライバルとなった友だち。悩みを自分のことのように聞いてくれ、夢を語り合った友だち。みんなのおかげで、暗いトンネルに一つずつ確かな光が灯され、いつでも帰ってきたい最高の居場所ができました。部活動や勉強がうまくいかないときにも、「お前なら大丈夫」と、励ましてくれた仲間がいつも側にいてくれました。

こんな大切な宝を得ることのできた私は、幸せ者です。いつか、あの日交わした約束を果たすために、またここで会おう。

【大西】

そろそろ、お別れのとかが近づいてきました。私たちは、三年間という、長いようであつという間だった中学校生活を終え、今日、上柴中学校を卒業します。

合唱曲「大地讃頌」の歌詞には、平和に生きることばかり見えそうではない、かけがえのないものであるという思いがこめられています。この三年間は、入学したときに思い描いたものとは全く違うものとなりました。何が「あたりまえ」か、時にわからなくなるときもありました。私の母は、修学旅行が中止になったとき、「落ち着いたら、どこかに行こうね」と優しく声をかけてくれました。できなかったことも多かったけれど、今日、こうして大勢の保護者の皆様、来賓の皆様、在校生、先生方に見守られ、卒業式が挙行できましたこと、本当に感激と感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

三年間の中学校生活で教えていただいた多くのことをこれからの糧にして、私たちは上柴中学校から自らが選んだ道へ歩んでいきます。前へ前へと、進んでいきます。

最後になりますが、上柴中学校のますますのご発展をお祈りして、答辞といたします。

令和四年三月十六日 卒業生代表 大西空河